

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	徘徊が見られる入居者が外へ飛び出して行かれるので錠錠出来ない時間帯もある。外からの不審者の侵入予防もあり、玄関の鍵は時間帯により錠錠を行っている。徘徊で異食等の問題行動で精神科通院での服薬の利用者がある。	精神不安状態の利用者は精神科からの処方薬を服薬しているが薬に頼らず利用者が落ち着くように気持ちに寄りそい薬による拘束が無くなる。	精神不安状態の利用者は精神科からの処方薬が不要になるように気持ちに寄り添う取り組みに努力する。	6ヶ月
2	23	利用者の様子をグループホーム日誌に記録している。介護記録に利用者の言葉を書き夜勤者はわかり易いように赤色で記録して情報の共有を図っているが「もう一つの我が家」となるよう、職員の都合で物事を決めていないか常に振り返るようにする。	「もう一つの我が家」となるよう、職員の都合で物事を決めていないか常に振り返り利用者の思いに沿った支援が出来る。	職員の都合で物事を決めていないか常に振り返り、利用者の思いに沿った支援が出来るように知り得た意向をわかり易く明確に記録して職員間での話し合いで共有する。	6ヶ月
3	35	地域の防災訓練にも参加し備蓄は2日分程度あり、スポーツドリンクやオレンジジュースなど用意している。先日の台風時の停電には、熱中症予防に気を配り、うちの配布や水分補給に気を付けた。	災害時にはライフラインの復旧に時間のかかる場合もあるが備蓄も含め利用者が少しでも快適に過ごせるようにする。突然大変な事が起こる可能性もあり、地域との協力体制をさらに強化していく。	ライフラインの復旧に時間のかかる場合もあるが備蓄も含め利用者が昼夜を問わず少しでも快適に過ごせるよう全職員が常に心がけ身に付けられる話し合いや内容に取り組む。	6ヶ月
4	40	昼食、夕食の調理は業者に委託しているが、朝食と昼夜のおかず1品と御飯は職員が作っている。食事は職員と行っているが利用者が食べ易いように軽い食器を使っている。おやつは利用者と共に楽しめる手作りも行っている。	職員と一緒に食事が楽しめる工夫と軽い食器の利点を踏まえながらも家庭的な雰囲気のものを取り入れる工夫を行う。	職員と一緒に食事が楽しめる工夫や軽い食器の利点を踏まえながらも家庭的な雰囲気のものを取り入れる工夫を行う。職員と共に出来る事を安全に手伝って貰うこと。	6ヶ月
5	52	食堂居間には一枚板の長いテーブルがあり、利用者は食事をしたり洗濯物をたたんでいる。隣のユニットと行き来しやすく、互いの利用者の共有の時間がある。季節感が乏しくなるが利用者の異食に配慮して飾り付けを少なくしている。	共用の空間を生活感や季節感を採り入れて利用者が居心地良く過ごせるような居場所の工夫を行う。	利用者の問題行動での徘徊による異食があり置物を少なくして季節感が乏しくなっているが季節感が感じられる工夫を行う。	6ヶ月

6	54	居室には、写真・足置き台・使い慣れたタンス等が置いてある。収納が無いため、市から支給されたオムツの箱も部屋の片隅に置いた利用者がいる。	利用者が居心地よく過ごせるような居室の工夫で快適に過ごせる収納の工夫をする。	居室内で居心地良く過ごして頂ける為に物入れ箱の側面に布をかけたりして利用者に快適な部屋にするアイデアと工夫を行っているがさらに居心地よく過ごせるような居室の工夫で快適に過ごせる収納の工夫をする。	6ヶ月
---	----	---	--	---	-----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。